

# 九州ネット

7月7日  
第5号

九州体育・保健体育ネットワーク研究会



鹿児島県開催 (黒豚ラウンド)

H27.6.27(Sat)

鹿児島市中央公民館

うだるような南国の太陽のもと……にはほど遠い、記録的な降雨の続く鹿児島で、今年も元気な!?桜島の見守る中、県外から6人、県内から44人、計50人もの方々の参加をいただき、本年度第3回目の九州体育・保健体育ネットワーク研究会<鹿児島黒豚ラウンド>を開催しました。去年を上回る参加者と、体育について熱く語り合えるこの出会いに、感謝・感激の一日でした。

また、情報交換会にも多数御参加いただき、鹿児島での熱く長い夜は、「森伊蔵」と鹿児島黒豚ラウンド初登場の「黒豚しゃぶしゃぶ」で腹いっぱい、胸いっぱい、充実感いっぱいになりました。

## 1 トピックス：「中教審論議からこれからの授業づくりを考える」

鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授から、これからの授業づくりについて示されました。

はじめに、中教審の最近のキーワードと体育の関係について、近頃飛び交っている言葉についての紹介がありました。例えば「資質・能力とその育成についての論議」、「学習指導要領の構造化、学習評価」、「体育で育成すべき資質・能力」、「オリンピック・パラリンピックレガシー」等についてです。ここで指摘されたのは、読み取る側のクリティカル・シンキングが問われるということでした。

避けるべきは「活動あって学びなし」、「はい回る体験活動」ではなく、深い認識を保障するための考える機会の確保であるということをご共有しました。

これからの「体育科教育」にかかる佐藤教授の熱い思いと学習指導要領改訂を第一線で行った責任者としての使命感を改めて感じました。

## 2 演習：「単元構造図ワークショップ」～各領域の最新版単元構造図づくりにチャレンジ～

今回は、「単元構造図ワークショップ」と題して、各校種・各領域の単元構造図づくりにチャレンジしました。

佐藤先生からの説明に従って、事前をお願いしていたファシリテーターの先生方を中心に、右表のような手順で「最新簡易版」の単元構造図づくりを行いました。

説明1	単元構造図の仕組みとねらい、指導内容の特定手順・評価のタイミング
ワーク1	(1) グループの校種、学年、領域の確定 (2) 指導内容の抽出(ポストイット3色)
説明2	学習過程の検討手順とポイント
ワーク2	(3) 単元計画(アプローチの検討) (4) 指導と評価のタイミングの確定
相互評価	コメントのフィードバック(ポストイット)

### 【ワーク1】

説明1を受けて、各グループが右表のような領域と校種に確定しました。今回は、ランダムなグループ編成でしたので、未経験の校種になった先生もいましたが、それぞれのグループで熱心なワークが繰り広げられました。指導内容の多い領域(特に技能の内容)では、抽出に手間取るグループもありました。



班	領域名	校種
1	球技「ゴール型」バスケットボール	中1・2
2	体づくり運動「体力を高める運動」	小5・6
3	武道「剣道」	中1・2
4	陸上運動系(短距離走・リレー)	小5・6
5	水泳	小5・6
6	体育理論	中3
7	器械運動	小5・6
8	表現運動	小5・6
9	ゲーム「ゴール型ゲーム」	小3・4
10	ボール運動「ゴール型」バスケットボール	小5・6

←【ワーク1】指導内容の抽出  
(小5・6：器械運動グループ)

## 【ワーク2】

説明2を受けて、各グループで単元計画の作成と指導と評価のタイミングの確定に取り組みました。



〔小5・6：体づくり運動グループ〕



〔中1・2：球技「ゴール型」グループ〕



〔小5・6：器械運動グループ〕



〔小5・6：表現運動グループ〕

### 3 成果物の発表とまとめ

ワーク2まで終了したあと、成果物を相互に見合いながら意見交換を行いました。その中で出された質問には、「この評価項目を設定したのはなぜ?」「評価のタイミングは、この時間で適当なのか?」などというものがありました。熱心に単元構造図の作成意図について質疑応答する姿を見ていて、ネットワークに出席される先生方のレベルの高さを実感しました。

まとめに、佐藤先生から熱いメッセージをいただきました。

- 「木を見て森を見ず」という言葉に象徴されるような授業にならないようするため、単元構造図を活用した授業づくりを!
- 授業の中では「努力を要する子ども」を見つけ、すべての子どもを「おおむね満足」な状況に引き上げる努力を!
- 苦手な子どもが安心できるような授業を!

### 4 結びにかえて

県外から、岩手の清水先生、広島清田先生、福岡の藤田先生、佐賀の福井先生、大分の岩崎先生、宮崎の川崎先生の6人もの先生方をお迎えして50人での素晴らしい研究会になりました。

準備や片付けをお手伝いいただいた方、「今回は行けないけど、応援してるよ」とメッセージをくださった方、いろいろな方々の力でネットワーク研究会が盛り上がっていることを痛感した1日でした。

「鹿児島で年内にもう1回!!」がんばってみます。

10月17日(土)、お待ちしております!!!



(報告：伊地知)